

49<sup>th</sup>

令和4年度9月号 [9月15日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



# 岸川中だより

川口市立岸川中学校  
川口市安行領根岸374番地の1  
TEL268-4506 FAX268-4761  
特別支援学級 TEL268-7110  
さわやか相談室TEL268-4510  
<https://kishikawa.official.jp>

## ジェネレーションギャップについて考える の ころ

校長 松田 隆幸

昔懐かしいラジオ番組小沢昭一的ころを真似たタイトルで始めましたが、最近「世代(ジェネレーション)」の格差について考え込む日が増えてきました。その昔は悩み方すら分からなかった私が、毎日のように、悩み・苦しみ、その結果、自信を失い、不安になる。心にとって悪いサイクルが動き出していると思えるのですが、悩むことが苦しみだけとは限らない。その原因というのが、ICTであるからです。正直に申しますと、今の「Z世代(簡単に言えば、生まれながらにしてインターネットやデジタル技術に触れている世代)」にはさすがに、その操作技術では、かなわないところです。ですが、操作技術では、悩み、苦しむ私でも、活用方法のアイディアは、Z世代の先生方と共に楽しく考えることができている(自分でそう思い込んでいるだけかもしれないが、...)。なので、ICTに関する苦しみは、時に楽しみに変化する事さえある。「もっと〇〇をできないだろうか?」「どうせだったら、〇〇してみないか?」そんなことをZ世代の先生方と考えることは実に心地よいものです。

Z世代の中でも今一番先頭、先端にいるのが生徒ということになります。2025年の崖、2030年問題・等々のメディアの記事からは、文字通り「先行き不確実・不透明さ」が強調されて伝わってきます。そんな未来を变幻自在にアジャストして行ける能力の基盤をどうにかして岸川中で身に付けていければと思っています。

今年の夏休みの宿題の多くはGIGA PCで行うこととしたのもその一つ。今年と来年にかけて、学力向上についての研究を市教育委員会より委嘱を受けて進めています。生徒一人当たりのPCの使用頻度はトップレベルだと予想していますが、問題は使用回数や量ではなく、肝心の学力が身に付いているや否や?です。そもそも学力の概念はその昔のように、「メモリー(暗記)型」から変化しています。公立高校の入試問題を見ても、「思考力」を問う問題が多くを占めるようになってきています。ベースになるメモリー部分の基礎知識と応用して生み出す力となる思考力と共にPCの活用によって高めていけるよう頑張っています。ベテランの先生方の経験とZ世代の先生方の感性が共有されることで、授業が改善され、生徒の学力向上につながると考えています。

ジェネレーションギャップは、異なる者同士が、うまく融合することで、+αの産物を生み出しますが、、、問題は、同じ年の者の間でもギャップはあるものです。異なるものを寛容にまずは受け入れる気持ちの在り様が重要であるという考えを毎日学んでいます。

私の毎日の生活は、寛容に、、、寛容に、、、受け入れる。決して逆らわない毎日です。

令和5年岸川中学校は創立50周年  
2023 Kishikawa.J.H.S 50<sup>th</sup> ANNIVERSARY